会費免除規定に関する内規

平成 5年 4月 6日 制定

平成 17年 4月 15日 改定

- 1 細則第1条第3項に定める年齢および在会期間は6月30日現在の満年数による。
- 2 学生会員の期間はこれを含める。
- 3 この規定の適用を受ける会員を永年会員と称する。会費未納者は、この規定の適用を受けられない。
- 4 毎年12月、新たに免除有資格者となる会員および免除資格者で未だ免除を申し出していない会員に対し、「免除申し出書」（別紙様式1）の用紙を送付する。
提出期限は4月の理事会開催日以前とし、4月の理事会で決定する。期限後の申し出は受理しない。
- 5 理事会が免除申し出で承認した場合、「会費免除通知」（別紙様式2）を行うと共に自動振込みを利用している会員について「自動振込」の取り止め措置をとる。
- 6 毎年5月、免除を受けている会員に対して「会誌送付先通知書」（別紙様式3）の提出を求める。
提出されない場合は会誌の送付を停止する。
- 7 事務局は毎年6月、理事会に永年会員についての報告を行う。

付 則

1. 本内規の改正は理事会で行う。
2. この内規の変更は、理事会で承認のあった日（平成17年4月15日）から施行する。